



知らぬ間に子供は成長する！！

エピソード1

私の孫のお友だちのA君と妹のSちゃんが我が家に遊びに来た時の話です。

A君は、妹のSちゃん、弟のGちゃんの3人きょうだいで、ご両親と5人家族です。

A君とは家族ぐるみでお付き合いをしています。子供の送りやお迎えも都合が悪い時には、カバーし合ったり、用があるときは、お世話になったりと本当に頼りになる存在です。A君の家ではよく子供が好きそうなイベントを計画されます。一人っ子の私の孫は、きょうだいの多いA君のところで育ててもらっていると言ってもいいくらいです。

お昼ごはんの準備をしているとA君がそばに来て、「僕たちのお母さんは、いつも僕たちのことを思っとらす♡」と言いました。

“なんて、素敵なつぶやきのだろう” そう思いました。そして、妹のSちゃんに苦手な食べ物があることを私に伝えてくれました。そして、

「Sは、食べるのが遅いんだよね。たくさん食べたらいい♡」と妹の事情を詳しく伝えてくれるのです。まるで、守っているかのように……。保育園の頃から、知っているA君。

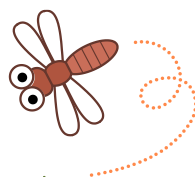
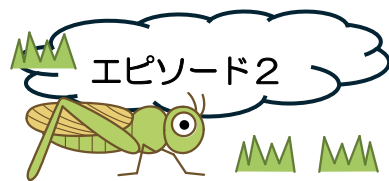
お母さまのことを含め、いつの間にか妹のことを守るべき存在と捉えて、お兄ちゃんぶりを発揮していました。そんなA君の心の成長に感心しました。

暫くして、A君のお母さまにお会いした時にこの日のことを話すと、お母さまは、「えー、そんなこと（僕たちのお母さんは、いつも僕たちのことを思っとらす）を言ったんですか！私は言葉に出して言っていないんですが……」とびっくりしておられました。

休みの日に仕事があった時など、きっとお母さまは子供たちのことを思いながら、仕事をされていたのでしょう。

子供を思うその思いは、子供に伝わるのですね。

そんな母親の思いが子供を遅く成長させていくのでしょう。



私の孫は、中学生と一緒に社会体育での活動をしています。その社会体育での活動をしている中学生の先輩、Ｙさんのお話です。

Ｙさんは、その競技では、これまでも全国大会に行くくらいの腕前で、孫がとっても憧れている先輩です。

とても暑い日のこと。水筒を忘れていった孫に届けに行きました。もう、練習は始まっていました。大きな声を出しながら、みんなは一生懸命練習しています。

“今、行ったら練習の迷惑にならないかな・・・”と気を遣いながら、覗いていると、私がいることに気づいたＹさんは、サササーっと私のところに来て挨拶をして、

「水筒は、本人に渡しておきます」

と一礼をしてその場から去りました。

なんて、気持ちの良い行為だったでしょう。

一生懸命、練習に励んでいる子供たちの様子といい、Ｙさんのさりげない気づきにとっても清々しい気持ちになりました。

少し経って、そのことをお母さまに話すと

「えー、そんなことをしたのですか！？家では、反抗期真っ盛りで私と本気でバトルです」

と、謙遜して返されましたが、そのお母さまの顔には喜びがありました。

家の外では、ちゃんとした気づきや行動がとれるのです。親が知らぬ間に子供の心は、着実に成長しているのです。

先日、大会があり久しぶりに応援に行ってきました。Ｙさんの試合結果は見事な成績でした。いつもさりげない気遣いができるＹさん。だからこそその素晴らしい試合結果に繋がっているのでしょう。

その日のＹさんは、いつもと変わらぬ表情でしたが、益々、自信と成長が伝わりました。



保護者のみなさまは、本当に一生懸命、子供さんと向き合って子育てをしておられます。笑いあり、喜びあり、そして悩みもありながら、毎日を過ごしておられると思います。「ちゃんとした大人になってほしい」そんな思いを持って、悪戦苦闘の子育てもあるでしょう。しかし、その大変だと思っていた関わりが、いつの間にか子供の成長とともに、頼もしく、頼りになる存在だと思えることに変わっていきます。二つのエピソードからは、まさに子供の心がしっかり成長している様子を知ることができます。

頑張っている思春期の子供さんの子育てをしておられる保護者のみなさま、頑張っておられるからこそ、子供を信じて少しずつ子供から精神的自立をしていきましょう！

♡二つのエピソードは、お母さま方に記載する承諾は得てあります。

●相談方法

- ・電話 0965-33-6145（相談室専用）
- ・メール kodomo-sien@yatsushiro.jp
- ・来所面談 〒866-8601

子育てなどの悩み相談

八代市松江城町 1-25
やつしろ子ども支援相談室
（八代市役所4階 教育サポートセンター内）
※面談の場合は、電話での予約をお願いします。

●相談時間

月～金曜日 午前9時～午後2時

